

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アシストかごしま			
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日 ～ 令和7年 12月 26日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数)	16
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 1日 ～ 令和7年 12月 26日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	11
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 29日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動内容の充実	活動内容が固定化しないよう、主に運動・制作・SST・音楽・イベント行事等の内容を軸に日々の活動を実施。活動を通してお子様が様々なことに挑戦したり体験する機会を増やしながら、成功体験を身につけたり、感受性を育めるよう支援を実施。また将来を見据え、日常生活動作やコミュニケーション活動等も取り入れ、実際の生活場面や日常生活等関連付けながら活動を実施し、活動を通して学んだり体験したことを実際の場面でも汎化できるよう支援している	今後もさらに職員一人一人の専門性を高められるよう、研修への参加や職員の学ぶ場を増やしながら、子どもたちに寄り添い、充実した活動内容の実施を行えるよう取り組む。
2	放課後等デイサービス計画に沿った支援	個別支援計画を作成する際は、保護者の方または利用者様と面談を行い要望や希望等について確認をおこない、また職員間で利用者様の状態について確認を行い、利用者様の課題や個々に合った具体的な支援方法について話し合い、支援内容を明確に提示し、職員間で共有を図っている。計画作成後は内容について保護者の方へしっかりと説明を行った上で支援を実施。実際の支援場面でも職員間で連携を図りながら個別支援計画の内容に沿って支援を行うと共に、利用者様の様子や成長が見られた部分、支援内容と状態に相違がないか等について日々記録している。それも踏まえながら、モニタリングや次の個別支援計画の立案を行っている。	利用者様や保護者の方の要望や希望を確認しながら個別支援計画の作成を行っていく。併せて個々の利用者様の状態に応じた支援や目標設定ができるよう複数の職員で利用者様の状態について確認、話し合いを行いながら個別支援計画の立案、また日々の支援を行っていく。
3	医療的ケア児の利用受け入れ	常勤・非常勤を含めた看護師を6名体制にし、他機関・主治医・ご家族との情報共有や相談体制を整えている。医療的ケア児の個別配慮に関して保護者の希望や安全面に留意し、職員間で共有し実践することを徹底している。また保護者とのコミュニケーションの徹底。リスク管理に関しても職員同士の連携、積極できな意見交換の場を設け共通理解に努めています。	病気・病状の知識や関わり方を事業所内・外部研修会などで学び、また積極的に外部との連携が重要

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他のこどもとの交流機会が不足していること地域の他のこどもとの交流機会が不足していること	「放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会」を活動として提供できていません。	今後保護者の方の要望などを伺いながら、必要とされている交流の方法などを検討。
2	家族支援プログラムの実施や保護者会等の開催、保護者の方も参加できる研修や子育て等に関する情報提供の機会が少ない。	家族会は年1回開催してる。 おやじの会や母の会など開催を考えていたが準備をする時間的余裕がなかった事。	保護者の方の意見も踏まえながら、おやじの会や母の会の開催を検討していく。職員一人一人にもう少し余裕が出来るよう職員の増員を検討。
3			